



名古屋の偉人伝

No.19

朝日重章(あさひ しげあき)の巻

ここがスゴイ!

驚異の筆まめ! 尾張藩主や市井の雑事まで多岐に渡る膨大な日記を記した人物。

こんな人生を送ってきました(経歴)

延宝二年(1674)年～享保三年(1718)年9月14日。

名古屋の東区百人町で生まれ、生涯その場所に住んだと言われる。尾張藩士。

知行百石の武士として、尾張藩で御城代組から御畳奉行までを歴任した。

貞享元年(1684)八月二十九日～享保二年(1717)十二月二十九日までの約三十四年間(8863日分)の日記『鸚鵡籠中記(おうむろうちゅうぎ)』を執筆した。この日記には、尾張藩主や市井の雑事など、筆者の経験だけでなく、耳に入った怪談などの噂話まで幅広い事柄が記録されている。

ほかにも、父親から受け継いだ、尾張藩関係を中心とした稀覯本(きこうぼん)の謄写抄録である『塵点録(じんてんろく)』76巻も完成している。

日記最終日から9か月後、45歳の若さで亡くなった。

もっとくわしく知りたいあなたに(参考文献)

『愛知百科事典』(中日新聞/編 中日新聞本社 1976年)

『名古屋叢書 続編』9巻～12巻

(名古屋市教育委員会/編 愛知県郷土資料刊行会 1983年)

『鸚鵡籠中記』上巻・下巻(朝日重章/著 岩波書店 1995年)

『尾張の元禄人間模様』(芥子川律治/著 中日新聞本社 1979年)

『朝日文左衛門「鸚鵡籠中記」』(朝日文左衛門/[原著] 加賀樹芝朗/著 雄山閣 2003年)

『元禄御畳奉行の日記』(神坂次郎/著 中央公論新社 2008年)